



基本的な看護技術習得につながる教材

[評者] 中島朋子

株式会社ケアーズ 東久留米白十字訪問看護ステーション

看護実践能力向上シリーズ 排泄援助の技術 1・2

監修：坂本すが/石井八重子/貝瀬友子/山元友子

各巻定価 33,600 円(本体 32,000 円+税 5%)

ビデオ・バック・ニッポン TEL 03-3405-3176



看護実践能力向上のためのシリーズとして、排泄援助に関する DVD が 2 本発刊された。

●排泄援助の技術 1

排泄のメカニズム、排泄障害のアセスメントプロセスなどの基本知識をおさらいすることができる。

排泄ケアの実際としては、便器・尿器・オムツの当て方、殿陰部洗浄の方法、導尿、膀胱留置カテーテル、浣腸の基本的な看護技術が説明されている。

また、排泄に関する歴史にも触れており、“現在の便器やポータブルトイレを連想させるものがこんな時代からあったとは……”と思ってしまうような、興味深い歴史も紹介されている。排泄に関する日本古来の文化にも焦点をあて、羞恥心や尊厳に対して十分に配慮したケアが必要であると説明されている。

●排泄援助の技術 2

急性期を脱した脳卒中患者の排泄に関するアセスメント、看護計画の立案と実際、退院準備までのアプローチが段階的に説明されており、骨盤底筋体操の実際も紹介されてい

る。在宅で生活の幅を広げるためのリハビリや、セルフケア確立に向けての看護展開にも参考になるであろう。

シリーズ 1・2 ともに、基本的な看護を学ぶ、あるいは復習をするといった時に役立つ教材であり、訪問看護・訪問介護に初めて従事する、あるいはブランクのある看護職・介護職が復職する際の研修などに活用するのもよいと思われる。

また、家族が介護技術を習得する際の視覚的教材として見ていただくことも、有効な家族指導・介護指導になるだろう。

だが、各ステーションで購入するには、金額がはるかもしれない。各地域の訪問看護連絡協議会や法人などで購入し、複数のステーションで活用していける教材とするのも 1 つの考え方だろう。

病院や施設ではなく、生活の場である在宅でのケアでは、各利用者の家屋状況もさまざまで、基本通りにいかないことのほうが多いのではないだろうか。

しかし個々の家で異なる状況のなか、介護される側も、家族を含むケア提供者側も、双方が安楽に安全に

ケアを展開するためのアレンジをしていかなければならない。

このアレンジは基本的な看護技術を押さえていなければならないことである。

その上で、その利用者宅の間取りや家具の位置、家族の介護力・理解力、経済的状況などを加味しながら看護を展開することになる。

時にはオムツなどをふんだんに使えないこともあるだろう。排泄パターンや介護状況、経済的負担を考慮した上で、各オムツの吸収量などを比較し使用するオムツの選択をしたり、当て方の工夫や殿陰部洗浄時の使用物品の工夫なども必要となる。

自動採尿器やコンドーム型収尿器、皮膚保護剤付き収尿器など、オムツ以外の排泄用具の検討も必要になることがあるかもしれない。

また、浣腸も在宅では必ずしも臥位でできるとも限らない。立位での浣腸の危険性とそのような状況下での工夫なども実践に即した知識として必要である。

今後在宅という現場でより活用できる教材を考えるとすれば、これらの事柄についても加えていただきたと思う。